

中国自動車産業発展過程の分析

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 経営・政策科学専攻

学位論文審査委員会提出 修士（ビジネス）論文

平成19年1月26日

学籍番号 200520906

氏名 烏云斯琴

論文指導教官

住田潮教授

Analysis of Evolution of Chinese Automobile Industry

目次

第1章 序論.....	4
研究背景と目的.....	4
第2章 中国自動車産業の説明.....	5
2.1 第一汽車の設立と自動車生産の開始（1949年～1958年）.....	5
2.2 「大躍進」と第一次自動車ブーム（1957～1966）.....	6
2.3 「文化大革命」と停滞（1967年～1978年）.....	8
2.4 「改革・開放」と外国技術による発展（1979年～1989年）.....	9
2.5 中国自動車工業の転換期（1990年～2003）.....	10
2.5.1 「自動車工業産業政策」の提出.....	10
2.5.2 政策の転換.....	12
2.6 多国籍企業の対中進出.....	13
第3章 中国自動車産業の成長の実証分析.....	16
3.1 中国自動車産業と関連要因の説明.....	16
3.1.1 自動車生産状況.....	16
3.1.2 鋼鉄の生産量.....	17
3.2 実証分析.....	17
3.2.1 単純回帰モデル.....	17
3.2.2 単純回帰モデルの検定.....	18
第4章 生産関数によるモデルの説明.....	19
4.1 定義.....	19
4.1.1 技術進歩(Technological change).....	19
4.2.2 生産性.....	19
4.2.3 全要素生産性(TFP).....	20

4.2	モデル	21
4.2.1	コブ・ダグラス型生産関数による TFP の推計	21
4.2	ソローの成長会計式手法による TFP の推計 (Solow Method)	23
第5章	データ	26
5.1	コブ・ダグラス型生産関数による推計	26
5.1.1	労働投入量	26
5.1.2	資本の投入量 (K)	27
5.1.3	推計結果と考察	27
5.2	ソロー成長会計式による TFP 推計の結果	28
5.2.1	労働生産性の推計	28
5.2.2	成長率の計測	29
5.2.3	TFP の推定結果	30
5.2.4	先行研究との比較	31
5.3	考察	31
第6章	結論と今後の課題	32
	謝辞	33
	参考文献	34

第1章 序論

研究背景と目的

技術進歩は、経済成長の大きな原動力となっているが多くの実証研究で明らかになっている。経済成長に対して技術進歩が具体的にどの程度寄与してきたかについては、これまで多くの分析が行われている。その多くは、経済成長のうち資本や労働の投入量の増加により説明されない部分、すなわち残差を計測し、これを技術進歩により実現されたものとみなすものである。

中国は1978年の「改革開放」政策を実行し、計画経済から脱出し、急激な成長を遂げている。今現在は中国の自動車産業の発展を、特定企業を事例として分析した論文は多く存在していることに対して、全産業を視野に入れて分析した論文は少ない。本研究では、1950年～2003年までの自動車産業のデータを用い、計画経済のときの中国の自動車産業と「改革開放」政策後の中国の自動車産業のモデルを計測比較しまた1990年から2003年までの中国自動車産業について技術進歩の指標である全要素生産性(TFP)計測し、1990年から2003年までの中国自動車産業の果たす役割を明確にすることである。